

高次脳機能しょうがいの回復のコツ ～ 専門家の実践 ～

高次脳機能しょうがいとは、脳卒中や、交通事故や頭部のけがなどで、脳が部分的に損傷を受けたため、記憶や、言語、注意、遂行などの機能に、しょうがいが生じた状態をいいます。

注意力や集中力の低下、感情や行動の抑制がきかなくなる。周囲の状況や話しかけられた事は理解できているのに、言葉が出にくくなる。左半側無視、つまり、左側半分が目からの刺激としてインプットされているのに、理解ができなくなる。身体の方では、半身の麻痺による生活がし辛くなるなどの状態になることがあります。

講演会では、言語聴覚士として、長いこと研究・治療に携わってきた演者が、脳梗塞による高次脳機能しょうがい者となり、その回復のコツについて、お話があります。

【日 時】 平成 26 年 3 月 15 日(土) 14:00～16:00

※受付は 13:30～

【会 場】 くにたち市民総合体育館 2 階会議室（市役所西側の建物です）

【講 師】 関 啓子 先生

三鷹高次脳機能障害研究所所長

神戸大学大学院保健学研究科客員教授

【費 用】 無料 <事前申し込み不要>

くにたち市民総合体育館 2 階会議室

（国立市富士見台 2-48-1）市役所西側の建物です。

【アクセス】

■JR国立駅南口バス4番乗り場から「国立泉団地」、「国立操車場」、「矢川駅」行きのバスにて「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車

■JR矢川駅北口から徒歩 10 分

■JR谷保駅北口から徒歩 10 分

近くには国立市役所駐車場があります。ただし駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関を利用してください。

